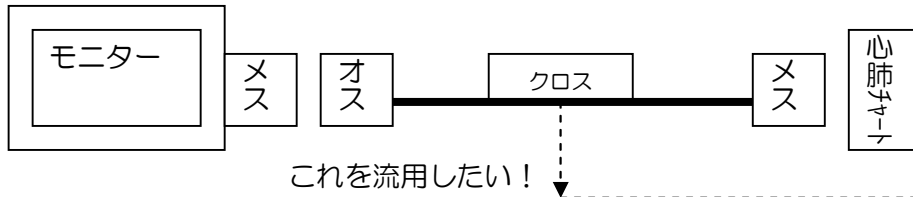


電子麻酔記録『paperChart』導入に向けて その30

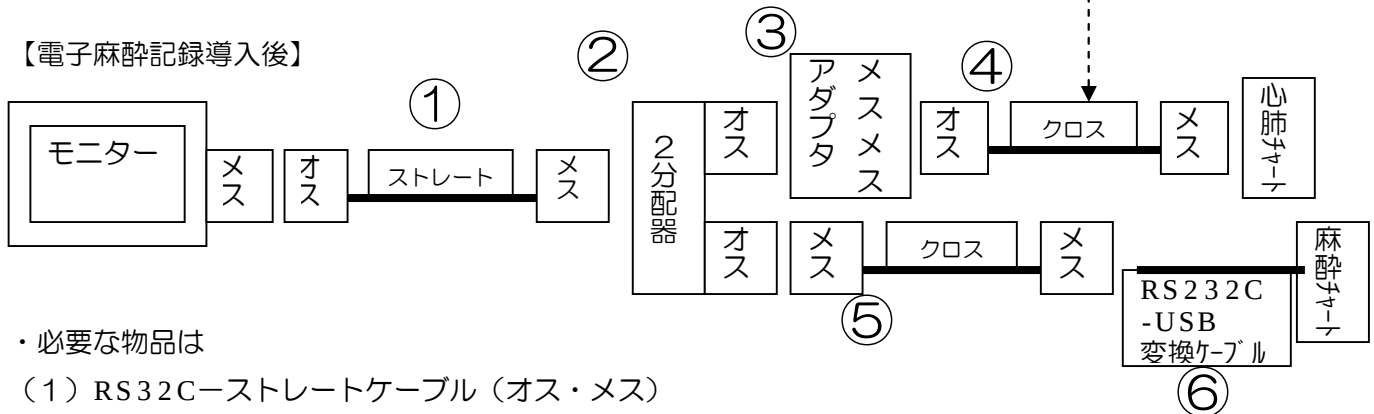
■20090924：6番の部屋（心外科手術＝開心術）用の部品調達

【現在の状態】



これを流用したい！

【電子麻酔記録導入後】



・必要な物品は

- (1) RS32C-ストレートケーブル（オス・メス）
- (2) RS32C-2分配器
- (3) RS32C-メス・メス・アダプタ
- (4) RS32C-クロスケーブル（オス・メス） ← これは今使用しているものを流用する
- (5) RS32C-クロスケーブル（メス・メス）
- (6) RS32C-USB 変換ケーブル ← これは購入済み

・・・ということで以下を注文した。

1. 「システムサコム販売 RS-232C 1対2分配器 PC接続タイプ 入力側 Ds9P(メス)/(オス)⇔Ds9P オス2ヶ SS-232C-NPSK2-P」
¥ 19,950

2. 「ELECOM AD-D9FF(超小型アダプタ)」 ¥ 651



3. 「ELECOM RS-232C シリアルリバーサ(9pin メス-9pin メス) 3.0m C232R-930」 ¥ 1,451



4. 「ELECOM RS-232C 延長ケーブル(9pin メス-9pin オス) 1.5m C232N-E9」
¥ 1,139



・「RS32C-2分配器」が届くのは「2009/10/8 - 2009/10/19の予定」とのことなので、心肺チャートと麻酔チャートの同時記録を試してみることができるのは、早くとも10月上旬以降ということになりそうだ。

電子麻酔記録『paperChart』導入に向けて その35

■20091005（月）：開心術時の心肺チャートとの同時記録の問題は解決できた！

- ・RS232C ポートの2分配器が予定よりもずいぶん早く、昨日（10/4（日））届いた。
- ・今日は、ちょうど心臓外科の手術がなかったので、*番の部屋が空いており、MEの??さんの協力を得て、麻酔チャートと心肺チャートの同時記録が可能かどうか実験してみた。
- ・先日（「その30」）で考えた分配器とケーブルの接続を実際に行おうとしたが、部分的にうまく行かないところがあって、百万ボルトに部品調達に行ったが、目的とするものがなく、がっかり……。しかし、淡い期待を抱いてデオデオまで行ったところ、なんとか目的を達成する部品を調達できた。さすがはデオデオ、品揃えが百万ボルトよりも少し勝っている。
- ・ケーブル類を接続し、まず「麻酔チャート」を起動しモニタリングを開始した。次いで、??さんに「心肺チャート」を起動してもらい、モニタリングを開始した。すんなり成功である。



- ・そもそもRS232Cの通信というのは、1対1を前提としており、1対多や、多対多は規格外の接続らしい。そのため、分配器のチャンネル1は、双方向通信可能だが、チャンネル2は1方向通信しかできない。もしも、両方を双方向通信可能にすると、通信データが混信してしまって、どちらも正常な通信ができなくなってしまうのだ。したがって、心電図モニターに「データを×○△という規格で送信してくれ。」というコマンドを送出する場合は、チャンネル1に接続されたノートPCから送らなければならない。
- ・開心術で、麻酔チャートと心肺チャートを同時記録する場合は、上記の実験で行ったように、
 - ① まず麻酔チャート側でモニタリングを開始しておく
 - ② 次いで心肺チャートでも記録を行う。

という順番で行う。

そうするためには、チャンネル1に「麻酔チャート」用PCをチャンネル2に「心肺チャート」用PCを接続しなくてはならない。

【麻酔チャートと心肺チャートの同時記録】

